



石井造園株式会社

CSR報告書

2020.6.20 発行

〒247-0006
神奈川県横浜市栄区笠間 4-11-5
TEL : 045-891-1501
FAX : 045-891-2785
http://www.ishii-zouen.co.jp



未来へつなぐ 新しい事業



PFI事業 上郷森の家

PFI事業とは横浜市が所有権を持ちながら民間事業者が自ら資金調達を行い運営・維持管理をしていく事業であり、石井造園は2019年9月から栄区が誇る自然豊かな宿泊施設である「上郷森の家」の経営に携わっております。

この事業は3年ほど前から検討されていた。経営不振で横浜市の財政を圧迫していた森の家をリニューアルして民間に任せるとの計画が公示され、その運営を希望するグループから緑地維持管理をお願いされた事により石井造園の参加が決まりました。PFI事業は我社以外の5社と協力して始めましたが受注するにはコンペティションで勝ち残る必要がありました。PFI事業者の会議で繰り返しアイデアを出し合い、熱いプレゼンが出来た事により受注することが出来ました。「上郷森の家」の運営に対しては石井造園の取り組みとしては大きな一歩であり、

一つは施設が誇る自然を良好に管理する事、もう一つはより豊かな横浜を次世代に引き継ぐ取り組みを行う事であります。維持管理にしましては生物の多様性を生かした管理をする事が大切になってきます。地球上の生物はバラエティに富んでいます。その生き物達の命のつながりを生物多様性と呼びます。生き物は、種で生きている事は出来ません。他の生物と関わるにより生きていくことが出来ます。しかし今は自然環境の悪化に伴い多くの種の絶滅が懸念されております。施設を維持するためには樹木の伐採等はやむをえません。その中で、少しでも自然に近い形で維持するために安全性を第一に考えながら宿泊施設としてより良い姿を整え、自然の樹形を生かした管理を行う事を心がけております。次世代への取り組みに関しては横浜みどりアップ計画に積極的に取り組んでおり、みどりを身近に感じてもらうための苗木配布を行っており、その他にも次世代森のレンジャーを育成し森を永続的に管理する人材を育成したり、森の恵み塾を開講しアウトドアライフの楽しみ方や生物の多様性に適応した里山ライフを実践する人材の育成を予定しております。これから15年運営させて頂くことになるこの機会を生かして、横浜市の至宝、自然の素晴らしさを広く永く多くの人に楽しんで頂けるように石井造園として取り組んでまいります。(武田洋一)

幸せを共有できる企業を目指して



COVID-19の医療最前線で献身的に働く皆様、水際で感染を食い止めようと奔走してくださった政府機関の皆様には心から感謝いたします。また命を落とされた方々には心からお悔やみ申し上げます。

今までに経験したことがない緊急事態は、ステイホーム、ロックダウンが世界的に行われる中、先行きが見通せないまさに混沌の時期のまっただ中に有ると思います。飲食関連企業の経営状況は大変な事でしょうし、製造業や物流業もグローバル化したサプライチェーンマネジメントを大きく見直すことになるでしょう。New Normalに向かっても働き方や暮らし方は以前とは異なるでしょうし、消費マインドが戻らないことも、この先大きな影響が有ると思います。一方で今まで成し得なかった時差出勤やテレワークの導入、公共機関を使わない移動手段、ZOOMやVRを駆使したリアルとバーチャルの使い分けが出来るように成りました。一時的に工場や企業活動を止めることで環境負荷が軽減され、エコノミーとエコロジーの相対関係が世界中

新しい柱へ 樹木診断ピカス3について



<ピカス3>

今年の5月にピカス3（音波計測精密診断機器）を導入しました。この機械は樹木に数個のセンサーを取り付け、センサー間の音波の速度を計測し、樹木断面の腐朽度合いを診断します。樹体内が健全であれば音は早く通過し、腐朽や空洞があると音の通過は遅くなります。現場でセンサーを用いて診断を

したら、数値をもとに樹木が健全なのか、また倒れる危険はないのか、今後どのような処置が必要なのかを判断します。相近年数が経過した樹木の健康診断をしたり、キノコが生えてしまったけど大丈夫なのかなどの心配があるときにもお役に立てると思います。樹木は具合が悪くても声を発することはできません。その時に樹木医が樹木に寄り添い、樹木の声を聴いてあげることが出来るための新戦力、石井造園の新しい仕事の柱の一つに成長するに違いありません。今までみどりと関わっていく中で足りなかった部分を補って余りある活動にしていきたい。この新戦力を駆使していきます。

寄稿

横浜市立大学
都市社会文化研究科教授

影山 摩子弥



石井造園さんの2019年春から2020年春にかけてのCSR活動記録を拝見しました。

CSR活動記録は、社内でも運用している書式で、社会貢献活動を中心に、どのようなステークホルダー（利害関係者）のどのようなニーズに応えるものか、直接のステークホルダーを超えてどのような社会的インパクトを生む活動か、その活動から自らが何を獲得しているかを整理したものです。その書式を見るだけで、CSRをよく理解していることが分かります。

項目の趣旨に沿った書き方にも慣れてきており、社会性戦略の

自己評価ツールになりつつあるように思います。

注目すべきは、CSRの一環であるSDGsにも目配りし、それぞれの活動がどのターゲットにどのように貢献するかを記載するようになっていくことです。SDGsの趣旨を理解していることがうかがえます。

石井造園さんは、事業の内容や規模から言えば地域企業であり、活動は地域ステークホルダーの期待に添える活動です。しかし、その活動がグローバルな課題に結びついていくことを意識されており、問題意識のレベルではグローバル

樹木医コラム 外来生物の話

樹木医 佐藤 一将

国内に生息している生き物には、在来種と外来種があります。在来種は日本に昔から生息している生き物を指し、外来種とは日本国外から侵入してきた生き物を指します。環境省が公表している生態系被害防止外来種リストには、動物植物に大きく分類されており、植物は本植物と草本植物に分類されます。原っぱでよく見かけるセイタカアワダチソウや、今の時期に黄色い花を咲かせるオオキンケイギクもそのひとつです。また、夏に花を咲かせる台湾原産のタカサゴユリは、テッポウユリに花が似ているため、ある日突然庭にユリが咲いたと大事に育てている人もいます。しかし、日本の在来種の

ヤマユリやテッポウユリは球根であるため、ある日突然庭に生えることは、親切な人がこっそり庭に植えてくれることがなければまずないでしょう。外来生物の侵入により、在来種の生育場所が失われ、在来種と交配して新たな雑種ができてしまう遺伝子汚染も発生しています。

日本のような島国への外来生物の侵入は、人為的に運ばれたものが多いです。貨物に種子が紛れ込んだり、法面の緑化をするのに生育の早い植物を輸入したりと理由は様々ですが、外来生物が日本の生態系を荒らしているのではなく、人間が荒らしているのかもしれないですね。

企業と云うことができます。

その問題意識をより洗練された活動につなげるために、気を付けること、よいことがいくつかあります。

まず、CSR活動記録にSDGsのターゲットを記載する欄がありますが、17のゴールしか記載されていません。ターゲットの条項番号を書き、さらに、そのターゲットへの貢献内容をできるだけ数値で表現するようにしたいと思います。

また、SDGsは、CSRの一部でしかありません。自社が展開すべきCSRは、SDGsにつながる取り組みのみではない可能性が有ります。自社の社会性戦略として支障がない範囲で調整をおこないSDGsにつなげることは良いですが、あまり意識しすぎてSDGsのためのだけの活動にな

ることは望ましいとは言えません。地域のニーズにそぐわず、経営的意味もなければ、それこそ持続可能な取り組みにはなりません。取り組むべきCSRを軸に、SDGsへの貢献の有無を確認しつつ進めるとよいです。

さらにCSRは発信が重要です。HPでの活動紹介は分かりやすいですが、数値などで社会的意義の程度が分かるようにされるとよいと思います。それがSDGsの趣旨でもあります。

2020年は新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制約を受けていると思いますが、それに負けない活動の地域への浸透が感じられます。今後も地域と国際社会のために尽力していただきたいと思っています。

石井造園株式会社

代表取締役

石井 直樹



から報告されています。

COVID-19と共に持続的な暮らし方をネクストスタンダードとしたとき庭や身近なみどりの果たす役割が変わるのではないかと考えていました。そこでウイズコロナ・ステイガーデン企画と銘打ち、3つのプレゼン企画を実施しました。1、開花、結実、収穫までを楽しめる、ブルーベリーの寄せ植え。2、みどりを通じたコミュニティづくりを目的とした、ご近所剪定講座。3、庭の夜景を楽しむ、竹灯籠プレゼン。どれも好評で多くの申込を頂き、スローでロハスな暮らし方にシフトしていることを実感いたしました。

ネクストスタンダードの実践の場とも言える「上郷森の家」PFI (Private Finance Initiative) 事業の初年度は、台風15号19号の影響で多くの倒木がありました。人的、近隣への被害はありませんでした。2月からはCOVID-19の影響で宿泊イベント共にキャンセルが続いています。初年度より熱い洗礼を受けていますが、SDGsの13、1氣候変動(注1)や3、健康と福祉を(注2)の観点からも、みどりの豊かな学びの場として運営してまいります。佐藤部長の樹木医取得は業務の範囲が広がり、樹木のエキスパートとして活躍の場が増えました。より精密な樹木診断をするために音波測定器ピカス3を導入し、倒木の心配のある木を未然に診断することが出来ます。

SDGsに着眼したCSR活動も24を数え、多様なステークホル

ダーと共に展開する事が出来ました。韓国江原国際フォーラムとサステイナブルブランドJAPAN横浜の2つの国際会議ではパネラーとしての機会を頂き参加する中で、B Corpとしての石井造園を高く評価して頂きました。外部の評価に劣らぬよう、しなやかで強靱な企業活動を展開してまいります。年間活動の傾向としては、完全週休二日を目指して休日を増やし、COVID-19の対応で働き方を改善し、外向きよりも内部の福利厚生に力を入れた一年でした。

より質の高い公共設備を横浜にお返しするミッションにおいては、委託業務1本、佐山部長が担当した八景西公園施設改良工事1本で、横浜市のその評価ポイントは85点でした。これで累計41件中37件が80点以上の評価を頂いております。

大きな休業を伴う事故も無く、例年を上回る売り上げを積み重ねることが出来たのは社員及び作業員一人ひとりの努力によるものですし、お見守り頂くお客様に深く感謝いたします。

COVID-19から学びつつマネージメントレビューを実施しネクストスタンダードを模索し、利他の精神で幸せを共有する企業を目指してまいります。

(注1) SDGs ゴール13 ターゲット1 気候関連災害や自然災害に対する強靱性及び対応力を強化する。
(注2) SDGs ゴール3 ターゲット3 2030年までにエイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶すること、肝炎、水系感染症、その他の感染症に対処する。

石井造園株式会社 経営理念 企業活動を通して、幸せを共有する企業を目指す

CSR方針

石井造園株式会社は経営理念にある、幸せを共有する企業を目指すため、生業の全てにおいて、地域志向 CSR 方針を打ち立て事業を展開していきます。

- 1) 生き活きたとした活力ある職場環境を作ります。
- 2) 仕入れや発注先は地元を優先し、地域経済の発展に寄与します。
- 3) 緑を扱う者として地球環境の改善に貢献します。
- 4) 法に抵触する事はもとより、事後に発覚し格好の悪いことは、絶対にしません。

CSR方針に基づき地域社会の一員として、地域に活かされている我々であることを確認し、幸せを共有する地域貢献企業として事業を展開していきます。

令和2年度 CSR目標

- ・社員の家族を巻き込んだ活動を行う
- ・環境経営として「つくる責任・使う責任」を果たす
- ・各現場で緑化啓蒙活動を実施しコロナに負けず苗木配布を1500本行う
- ・樹霊祭を開催する
- ・横浜型地域貢献企業の調査・研究をし、活動に参加する
- ・CSR活動をSDGsの目標と関連付けて展開する

企画：石井造園株式会社
印刷：株式会社大川印刷

FSC®森林認証紙、ノンVOCインキ(石油系溶剤0%)など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生するCO₂を全てカーボンオフセット(相殺)した「CO₂ゼロ印刷」で印刷しています。



八景西公園 施設改良工事 苗木配布



空間ワークショップ山下会



本年度に金沢区にある八景西公園の施設改良工事を受注施工いたしました。横浜市が開港150年の際に行った横浜150万本植樹行動で行った活動を引き続き継承することを基本とし毎年目標を立て苗木の無料配布を行っています。

公共工事において地域貢献にすることが評価として見られるようになってきました。工事前に地元自治会との打ち合わせを行った際、工事の中で、シンボルツリーの植栽があり、地元の自治会の15周年となることを知り記念植樹式を行うことを提案しました。併せてその際、ブルーベリーの苗木300本の無料配布を行わせていただく運びとなり工事期間中に、行うことになりました。地元の方々、工事にご理解と協力を頂いたことを感謝し行いました。当日は、告知をし

この活動は公益社団法人日本建築家協会（JIA）神奈川県支部に協力する形で行っております。空間ワークショップとは二種類の長さの棒とゴムを使って子どもたちが共同で家を建てることにより、協調性と空間表現を養うプログラムとなっております。

山下会でもフェスタ2019での取り組みを紹介します。

子どもフェスタは山下公園で2008年から開かれており、遊びながら学ぶのテーマの下多くの団体が出展しており今回で12回目になります。

当日は石井造園、ボランティアを含め総勢30人で子どもたちの指導にあたりました。子ども達は6人程のグループに分かれ一人一人が設計図として作りたい家や乗り物を書きます。その中から一つを選びそれを実際に棒とゴムで作って行きます（選ぶ際は想像力溢れた絵ではなく、

ていまして人が集まるか心配がありましたが開催時間前より人が集まり植樹式を行いその後、苗木の配布と横浜のみどりアップ推進課より頂いた冊子、バッジ等も一緒に配布できました。用意した物は、すべて配布できました。工事に対する関心も伺い知ることができました。又、この活動は、SDGs においての「陸の豊かさを守ろう」にも繋がる活動でした。

（佐山 五輪 男）



作りやすそうなお絵に大人の技術で誘導していく事は秘密になっております。

最初は棒のつなぎ方が良く理解できずに子ども達も苦戦しておりましたが、作業が進むうちに徐々に習得していき、理解できた子はまだ苦戦している子に積極的に教えており建築も中盤に入りますと最初は輪に入っていなかった子どもも教えたり教えられたりして積極的に参加するようになってきました。家の形が見えてくると窓を付けたい、梯子を掛けたいと品質に対するこだわりも出てきて、みんなで協力して完成させるとその大きさ故の達成感に子どもたちはとても喜んでおりました。

この活動を通して多くの子どもたちの成長に携われる事は教える側としても大変うれしく、石井造園として長く続けていきたい活動のひとつです。（武田洋平）

ついでに、無理なく、達成感のある活動

緑あふれる地域のために



緑化基金
やっています

平成20年度より社員の発案で生まれた弊社独自に設立した緑化基金は10年以上継続しております。この基金は緑あふれる地域の学校、施設、団体の活動のために使わせていただきます。改めてこの基金のシステムをご紹介します。

まず、弊社業務の各現場のご請求金額の下3桁の金額を基金に充てます。

例えば、A様に109,800円をご請求させていただいた場合、800円が基金に充てられます。そして、その金額の同額を弊社が上乗せいたします。この場合800円を上乗せしますので、基金の合計は1,600円になります。

こうして一件一件積み上げた年間の合計額を緑化基金とし、植樹、鉢植えの寄贈など緑化活動に

寄与されている諸団体に授与させていただいております。

この緑化基金は、仕事を発注してくださるお客様と弊社が共同で作りに上げてきたものと言っても過言ではありません。

令和元年度は過去最高の245,816円が集まり、同額を弊社が上乗せさせていただくと491,632円が緑化基金となります。

この小さな活動の積み重ねが、地域のためにできることだと信じ、今後も一歩ずつ積み重ねていきたいと思っています。

令和元年度 緑化基金授与先

紫陽花の会
湘南桂台みどりの会
栄区役所
大船パークタウンボランティアの会
西本郷小学校 フラワーボランティア
笠間町公園愛護会
本郷台駅前公園愛護会

（順不同）

令和元年度 緑化基金にご協力頂いた皆様

（ゆももの会／（宗）青木神社／（宗）阿彌陀寺／（有）とみおか／BASF ジャパン（株）／JIA 神奈川県事務局／KIK エンジニアリング（株）／YOKOHAMA AIR ACT／相原様／秋本様／秋山様／渥美様／阿部様／荒井様／有馬様／安藤様／飯島様／イオンディライト（株）／池田印刷（株）／池戸様／池水工業（株）／石井様／石川様／石渡様／板谷様／イチリンハナレ／井出様／伊藤様／稲田様／内田様／大角様／大平様大船ルーテル保育園／大村様／大山様／小川様／沖様／オセアンハマ住（株）／小野様／小野寺様／オルタスクエア（株）／ガーデンクラブ／かさまの杜保育園／鹿島様／加藤様／神奈川県私立中学高等学校協会／神奈川県労働福祉協会／金子様／川原様／桔梗様／北見様／木村様／来原様／熊越様／グレースガーデン希望が丘団地管理組合／小池様／小泉様／高木様／肥塚様／斉藤様／櫻田様／さゆり幼稚園／三洋装備（株）／品川様／柴橋様／司法書士小野司／嶋田様／下公様／湘南台ブラウンハイム管理組合／湘南みどりハウス（株）／昭和薬品化工（株）／聖光学院中学校高等学校／清心保育園／関／セサミファクトリー／相鉄企業（株）／大建設（株）／高品様／高田様／高橋様／田上様／瀬川様／田中様／塚田様／定泉寺／土居様／東急建設（株）／東急リパブル横浜センター／トキワ保育園／仲様／永澤様／長島様／中野地域ケアプラザ／中村様／西谷様／野崎様／野庭幼稚園／長谷川様／畠山様／早瀬様／原様／伴野様／平井様／平賀様／ヒルトップギャラリー横浜レジデンス管理組合／廣田様／福井様／福岡様／芙蓉保育園／星様／星通商（株）／細川様／ほごがや市民活動センター／堀内様／堀様／本郷台駅前商店街／本間様／前田造園／松本様／松山様／岡中様／水落様／みなと工業／南戸塚保育園／宮澤様／村田様／森様／守屋様／安田様／柳下様／矢野様／山口様／山田様／横浜植木（株）／横浜市／横浜市グリーン事業協同組合／横浜みなとマリナライオンズクラブ大通り公園水の広場愛護会／横浜山手シティハウス／横山様／吉田材木店／ライオンズステーション磯子管理組合／ライオンズヒルズ横須賀浦賀管理組合／ライオンズマンション金沢八景第6管理組合／ライオンズマンション上大岡第3管理組合／ライオンズマンション上永谷管理組合／ライオンズマンション港南桜道管理組合／ライオンズマンション能見台管理組合／レックス本郷台グレースコート管理組合／渡邊様／（株）Project／（株）URリンケージ／（株）アイテック／（株）ウェイブズ／（株）大船住研／（株）大山会計／（株）木風／（株）ククシマ／（株）ジョビア／（株）相鉄リビングサポート／（株）ダイエー／（株）長野工務店／（株）ニコンプロダクトサポート／（株）西口不動産／（株）ピオニーガーデン／（株）百水庭園研究所／（株）藤紋／（順不同）

敬称略

～活き活き活動・地域に貢献～

石井造園の取り組み紹介



CSRの取り組みをさらにブラッシュアップするという課題のもとに本年度も様々な活動をしてまいりました。会社全体でSDGsのゴールとターゲットを意識した事業活動をひとり一人が知識を深め、具現化して行くために努力する一年目でもある中で、それぞれの活動を掘り下げ、次の段階へとステップアップできたといえる年になった。またその反面最後の3か月はCOVID-19の影響で予定されていた殆どの活動が中止となってしまうことは全く残念でなりません。そんな中でも工夫して地域に何の貢献ができるかがこれらの課題となります。

今年度のみどりアップ計画賛同による苗木の配布の本数は855本でした。実は2020年2月5月までに600本配布の計画があったのですがイベント全てが中止になったのが心残りです。それでも実施配布数は前年に比べればかなり多く、企画の内容も様々でした。横浜公園にて行われたカーフリーデーや金沢区の八景西公園改修工事での植樹式において近隣の方々への苗木配布など受け取っていただいた皆様からお礼と喜びの声をいただいております。またコロナに負けるな企画として、GW前にブルーベリー鉢植えを配布したところこれも反響を呼び、大変喜んでいただきました。

造園業ならではのめぐりと直接繋がるこの活動を計画しおり強化継続していきます。

15回を数えたカサマルシェ。第16回は緊急事態宣言の最中でもあり、断腸の思い

で中止いたしました。秋に開催された第15回では入場者も過去最高と思われる600名以上を数え、「お客様のとっておきの逸品を地域の皆様へ」というコンセプトの元、直接的ステークホルダーであるお客様（出展者）と地域の皆さまの交流の場として定着発展していくのを実感しています。弊社にとりましても、社員と直接的、間接的ステークホルダーが一同に会し、それぞれの反応を体験できる貴重な場として、今後も飽きられることのない充実した内容で続けていきたいと思っています。

毎年弊社が協力して行っているJIA（日本建築家協会）主催の子ども空間ワークショップは山下公園にて山下会子供フェスタの中のイベントとして開催されました。当日はファシリテーターの補佐として日本工學院の学生の参加もあり、おいに盛り上がりを見せました。

子どもたちの発想力は相変わらず素晴らしい、また取りまく親を含めた大人たちのほうが熱中するくらいで、我々も大変刺激を受けました。このワークショップは発想力だけでなく、チームで物事を成し遂げる力や達成感など、子どもたちにモノづくりを学んでもらえる格好の場になります。こういったことを共有、共感し弊社社員は学びを得て社会貢献に取り組んでいきます。

環境に対する取り組み

2015年から始めた＊カーボンオフセットは本年度で満5年を迎えました。本年もヨコハマブルーカーボン16.8tを含むクレジットを使い完了しています。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の報告書では地球温暖化が確実に進行しており、



情報公開に対する取り組み

昨年度に課題としてあげていた情報発信力の強化については、Facebookを活用すること



その影響が顕在化していること、温暖化を抑制するために温室効果ガスの排出量を大幅に削減する必要があることが示されています。弊社は本年度からカーボンオフセットをしていきながら、根本的にグリーンバリューチェーンの実現に向けた取り組みを本格的に始めました。グリーンバリューチェーンとは、価値を生み出す企業活動の流れである「バリューチェーン」の考え方を温室効果ガスの排出削減に生かす取り組みで、国際的な基準や国内指針が整備されており、環境省が情報プラットフォームをインターネット（環境省・経済産業省 グリーンプラットフォーム）上に開設運用しています。

弊社の取り組みはこの中で中小企業版（SME・RE100）取り組み事例（現在国内で22社）として掲載されています。この公開された目標に向けてこれから真摯に取り組んでまいります。

＊カーボンオフセットは日常生活や経済活動におけるCO2等の温室効果ガスの排出について、減らすようにも努力しても減らない全部または一部を、クレジットを購入することまたはほかの場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施することにより、その排出量の全部または一部を埋め合わせる（こと）。

ワーク＆ライフバランス

令和元年度は前年度の取り組み目標を引き継ぎました。目指した離職者0も達成し、順調であったので職場のマネジメントを重視した管理職の育成を視野にいたれた取り組みを行うことに對して、実行することができました。この4月には新卒者を含む7名の若い力が加わりました。

多様な働き方ができる状況を作っていくうえで、まずはかねてより検討していた休日を90日から105日としました。これによってほぼ週休2日の計算になります。社員が幸せになる働き方を考えるとき、大企業では難しい、我々の規模の会社だからこそできる対応力を考え、そしてワークはライフの重要な要素であることをおさえた上で、多様な働き方ができる状況を作っていくとする弊社にとっては、COVID-19対策は格好の試金石となりました。いち早く社員の通勤における公共交通手段を、会社の車両を利用した車通勤に切り替え、通勤におけるリスクを回避しました。また社員から自発的に声が上がった、対策マニュアルを作成実施しており、事務所での3密を避けるべく、出勤ローテーションの実施やテレワークが可能な仕事においてはテレワークにおける自宅作業を行い、通常と変わらぬペースで仕事を全うしてまいりました。また現場のマスク支給はもちろん、中華街支援も考えた上で、社員の免疫力アップのための中薬点心セットを支給させて頂きました。まだまだ予断は許しませんが、New Normalと言われる時代においても幸せを共有できるように何をなすべきかを考えていきたいと思っています。

による、リアルタイムの情報公開はフォローアップの増加もあり、効果を上げつつあります。

一方でホームページの発信力はまだまだ改善の余地があり、ただいまリニューアル中で6月下旬には公開できます。新しいホームページでは従来のトピックスや新販売情報だけでなく、CSR活動や新しい施工例も更新しニューズ性を高めていきます。